

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成	施策	① 体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力
			施策の小項目名	○地域特性を学ぶ取組
主な取組	観光教育の推進			
対応する主な課題	①沖縄の子どもたちが豊かな心を形成し、生きる知恵、社会性、生まれ育った地域に誇りを持つ人格を形成していくためには、幼い頃から地域活動や体験活動を通して、より多くの人々と触れあうとともに、沖縄の自然、文化をはじめ、国内外の優れた芸術文化に触れる機会等の一層の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
次世代を担う子ども達が観光の重要性について、理解を深める事等を目的として、県と一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)により「観光学習教材」を作成し、県内小学校4年生に配布する						
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【098-866-2764】					
		観光産業等と連携し、観光教育を実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		観光学習教材作成・配布							
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
県単等	委託	5,700	3,862	2,402	2,800	3,000	2,800	県単等	OR2年度： デジタル版の観光学習教材を作成し、県内小学4年生等に配布するとともに、関係機関と連携し、更なる活用に向けた検討を行った。 OR3年度： 観光学習教材の更なる活用に向けた記載内容の更新を行い、県内小学4年生等へ配布する。
予算事業名									
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
									OR2年度： OR3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名					R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
観光学習教材の作成・配布					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	3,000	順調	デジタル版の観光学習教材を作成し、県内 小学4年生等に配布したほか、OCVBにおいて 観光学習教材を活用した出前講座を実施し、 観光教育の推進を図った。
	17,500冊	16,400冊	17,100冊	17,500冊	—	—	100.0%			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	3,000	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  デジタル版の観光学習教材を作成し、県内 268校の小学4年生等に配布したほか、OCVBに おいて観光学習教材を活用した出前講座を16 回実施するなど、観光教育の推進に繋がっ た。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	3,000	順調	
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校等関係機関に対し観光学習教材の活用や出前講座等について周知を行うと共に、アンケート調査等を実施し、活用率向上に向けた有効な取組を検討する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>OCVBにおいて、出前講座の周知を実施すると共に、実際に観光学習教材を活用した出前講座を実施した。</li> <li>小学校教員等へ聞き取り調査を実施し、活用率向上のためデジタルを活用した教材を作成した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・観光教育については定量的な評価が難しく、効果が図りにくい。

##### ○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光産業への就業意向の低下が懸念される。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・観光産業の魅力向上に向け、教材の利便性向上が必要。
- ・継続して関係機関等と連携しながら観光教育の推進を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・更なるデジタルの活用や利用促進の周知等を図り、観光学習教材の利便性向上、活用促進に取り組む。
- ・教材作成時に県教育庁などと連携し、教育の視点も含めた教材づくりに取り組む。